

時事文翻訳添削ノートから

私は毎年授業で時事文翻訳の添削を行っています。翻訳に挑む学生さんたちに具体的な事例に沿って役に立つ情報をご紹介します。

情報 32

P98の5行目に“**联合**”があります。日本語だと「～と連合する」というと、国や企業ならまだしも、人と人が1対1で協力するときは使いませんが、中国語ではこの文のように人と人(ここでは動物を擬人化しています)にも使います。

組織や部門が共同して何かをするときは“**会同**”という動詞を使います。

その「共同」ですが、中国語の“**共同**”は副詞として、一緒になって何かの動作をするときにも使いますが(“**共同讨论**”「一緒に討論する」／“**共同奋斗**”「一緒に戦う」)、よく形容詞としても使われます。そのときは、日本語に訳すとき、「**共通の**」と訳したほうがぴったりすることが多いことを記憶しておきましょう。

例：“**共同语言**”「共通言語」／“**共同点**”「共通点」

情報 33

P100の1行目に“**发现**”があります。日本語に直すと「発見」ですが、どうして日本語では「発見」になったのでしょうか。昔は本を印刷するのに木版などを作って刷り上げました。その場合、よく、漢字の偏を省略しました。ですから、古い書物では“**発見**”とあっても“**fājiàn**”ではなく“**fāxiàn**”と読んだのです。